

平成26年度第12回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成27年3月18日（水）午後3時30分
場 所：市役所3階委員会室
事務局：企画政策課
外部アドバイザー：(株)船井総合研究所

1. 開会

欠席（林委員、遠藤委員）報告

2. あいさつ

委員長：大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。平成26年度もまもなく終わるということで、今年度の建設準備委員会は最後の12回目となります。10月に無事オープンできるように皆様のご協力をよろしくお願いします。

市長：年度末で大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。委員長からお話があった通り、今年度12回目の委員会になりました。大変ご苦労さまでありました。

現在作業を進めております株式会社季楽里あさひの設立については、本日第3回目となる発起人会を開催しまして、設立に関する各種事項につきまして、協議が整ったところであります。今後は4月上旬に法務局で登記の申請を行い、中旬には登記が完了し、いよいよ季楽里あさひの開業に向けた準備に入っていくこととなります。

さて、地方創生の拠点として、道の駅を活用するために、国土交通省が創設した重点道の駅制度で、南房総市の「とみうら枇杷倶楽部」が全国のモデル道の駅に選ばれました。約20年間にわたって、地域特産の枇杷を中心に、商品の開発・販売を行い、生産農家の経営安定に貢献したこと等が評価されたようであります。

国において、道の駅は経済の高循環を十分に行き渡らせる成長戦略の強力なツールとして、位置づけております。旭にとっても、地元の名物や観光資源を活かし、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や地域の活性化に大きく貢献できるものと考えております。ぜひ多くの方々に、季楽里あさひを目的地として足を運んでもらえるよう、本日も皆さんからご意見を頂き旭らしい道の駅にしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

3. 議題【道の駅運営に向けた検討項目】

（1）発起人会専門部会の報告について

※事務局より説明

・発起人会の会議内容の報告について

→会社設立までのスケジュールについて、役員構成について

各委員からの意見

委員長：役員構成について、取締役4名の方については、例えば農協の専務、商工会の

会長、漁協の常務、こういった団体役員として出ているので任期があると思うが、任期で役職がなくなった場合はこのまま取締役なのか、それともその団体から改めて出いただくのか。

事務局：取締役については、出資額の大きい団体から1名ずつ出して頂いているので、役員の改正等あった場合は、団体にお願いすることになる。そして株主総会等で承認の上、最終的に決定ということになる。

（２）事業計画書の報告について

※アドバイザーより説明

・次年度スケジュール及び収支計画等について説明

各委員からの意見

委員：人材採用・教育について、どのような方法で採用するのか。

アドバイザー：一般的には求人媒体を使わないと難しい。行政にも協力して頂き、市役所の方で求人の告知をしてもらいながら、いくつかの求人媒体を用いることを考えている。民間の求人媒体を用いると多少費用がかかるが、地域に対して告知をしていくことが大事である。もう一つ有効な方法としては、建設現場の進捗が進んでいるとのことで、空いたところに大きく張り出して、募集していくのも良いと思われる。

委員：採用については、年齢の制限等を含め、注意して良い人事をしていただきたい。

市長：行政としては、広報あさひやホームページで募集することだと思う。

委員：駅長の研修についてだが、資料の類似道の駅の中から研修先を選ぶか。それとも既に決定しているのか。

事務局：駅長候補者とも協議しており、事務局からはこのような候補地の提案をさせていただいているが、駅長の考えや研修期間中の予定を空けてもらうこと等もあり、これから協議をして決定していくことになる。具体的には決まっていない。

市長：国が選定した全国のモデル道の駅も良いのではないかな。

委員長：従業員が6名ということについて、業種などの割り振りについてはまだ決めていないのか。

アドバイザー：今後、事業計画を作成するにあたり、経理部門に1名が必要との指摘もあり、人員計画の詳細を検討している。今後設立される会社での検討もふまえ協議していきたい。

委員長：道の駅がオープンした後も、道の駅の建設に携わった職員に連絡調整をやってもらい、スムーズに仕事を受け渡していかなければならないと思う。

市長：道の駅がオープンしてからの行政の関わり方については、第三セクターといえども市から大きな資本が入っており、役員とのパイプ役を行政としてもつないでおかなければならない。

委員：建設工事との関係や、スムーズな開業等を考慮するとテナント入居者とは、なるべく早い時期に事前協議を行わなければならない。

アドバイザー：全てのテナントは、出来るだけ準備の時間は与えた方が良い。できるだけ早い段階で事務局とやりとりをするのが望ましい。

委員：7月に建物が出来上がるとなると残り実質5ヶ月で、もうあまり時間はない。

委員長：イベントの部門でテントだけではなく、キッチンカーの販売も良いと思う。それと、応募以上の申し込みがあった場合にはどうするのか検討していかないと、参加を制限しないといけなくなってしまう。市の他のイベントではかなりの数の出店者がある。

（３）その他

※事務局より説明

・道の駅の登録について

→既に登録申請済みで、予定では３月末か４月上旬に登録される予定。

・出荷者登録状況について

→３月１７日現在の申込は２１９名である。今後出荷者協議会の部会、役員会、Ｈ２７年度総会等を開催予定である。

※宇畑委員より

・ホーム・オブ・マザーズの「飯岡メロンジェラート」が「食のちばの逸品を発掘 2015」の一般部門で金賞を受賞した旨の報告があった。

（４）建設現場の視察

・建設現場にて進捗状況を確認

閉会 １７：２０